

Art Collectors

月刊 アートコレクターズ

11

2026

幻想美術

無限の世界へ解き放つ

インタビュー
小林敬生 建石修志
寄稿
藤森詔子 マンタム
難波功士 藤井修平
古谷博和





北川麻衣子

「お調子者」

2026年 ダーマトグラフ、ケント紙、パネル 80×100cm

想像や空想は変幻自在である。ゆらりと朧であつたり、ドドッと駆け抜けていったりと掴みどころがない。それを追いかける様に描く。見えない事物の姿形を追いかけて頭の中の記憶や経験と結び付けて絵になったそれらを見ることで、自分を視ることが出来る。（北川）

きたがわ・まいこ 1983年埼玉県生まれ。東京藝術大学大学院油画研究室博士課程修了。Gギャラリーためなが G掲載作品=132万円 G個展（2027年11月～12月・ギャラリーためなが東京店）

山城有未

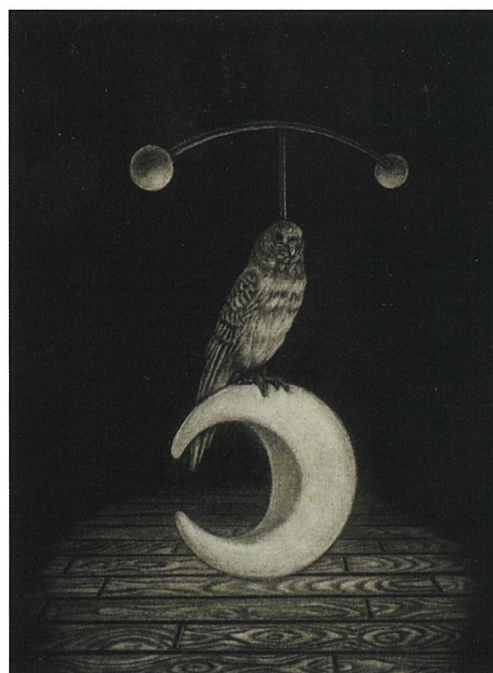
「交信」

2024年 銅版画（メゾチント） 11.7×8.7cm

現実世界は精神世界の写像。想像とは創造であり、0から100を生む第一段階の尊いもの。

同じものでも見る人によって様々な見方があり、その数だけ空想世界が存在する。アートはその世界をダイレクトに表現できる本来見るはずのなかった別の世界を覗き見共有できる窓として大切な役割を果たしているのだと思う。（山城）

やましる・あみ 1987年福岡県生まれ。2011年東京造形大学絵画科卒業。13年東京藝術大学大学院版画第一研究室修了。G靖山画廊、養清堂画廊 G小品=2万円～ G個展（2027年1/12～1/23・養清堂画廊）、グループ展（2027年7月予定・靖山画廊）



高橋亜弓

「世界の樹」

2024年 油性木版（凹凸版）、鉛筆、コラージュ
イメージサイズ：44.0×40.3cm、パネル外寸：53.0×45.5×2.0cm

「どんな鳥も想像力より高く飛べる鳥はいない」と寺山修司は言いました。人は皆、そんな内なる鳥を抱き生まれてきたのだと思います。その鳥が見る景色を、私は描いているのかもしれない。（高橋）

たかはし・あゆみ 神奈川県生まれ。多摩美術大学絵画学科版画専攻卒業。Gワイアートギャラリー、Gallery Field、The Artcomplex Center of Tokyo G小品=3万円～ G3人展（2027年7/1～7/11予定・Gallery Field）